図書館通信 vol.111

11月号

横浜修悠館高校図書館

この本おすすめ！～図書館より

秋の夜長に静かに本を読んでみませんか

装丁がオシャレな１冊

『現代の道具のブツリ』

田中幸・結城千代子著（雷鳥社）420-タ



本書をパラパラとめくる。楽しそうな道具のイラストが目にとまる。文章を読んでみると、わかりやすい「ブツリ：物理」の説明にたどりつく。気になるところ、どこから読んでも大丈夫。
難しい数式が一切出てこない。普段使っている道具も、その仕組みをひも解けば、素朴で美しい自然の法則（物のことわり）が息づいていることがわかる。ニュートンやガリレオが見つけた法則が、今も自分の手元でしっかり現役で働いているのだ。
いつもの見慣れた景色や日常の暮らしが、いつもより「面白く」感じられるはず。純粋に知的好奇心をくすぐられる体験を、ぜひ味わってみてください。

いっしょにこまってほしい１冊

『わたし 初音ミク こまっているの』

たなかひかる著（主婦の友社）E726-タ



「わたし　初音ミク
じまんの　髪　ステキでしょう
でも　トレードマークの　髪　のおかげで
まるで　こっちが　わるいことをした
かんじに　なるの
だから　髪　を・・・」

じまんの髪　どうなって、どうしたと思う？
これは声に出して読んでもらいたい絵本だなぜったい笑えるとおもうの

でもこの本、事務所に許可をとったのかしらそれが心配…

今、職員室で関心を得ている１冊

『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか
ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」』

アレン・ネルソン著（講談社文庫）B319-ネ

戦争は他国のできごとでよくわからないなあ…と多くの人は思っている。けれど、これからを生きるみなさんが自分ごととして、平和や人権を考えるときに参考になる１冊のはず

また以下は映画を見た先生たちの率直な感想です
◎本当に恐いのは戦争の「システム」
◎PTSDを起こした戦争加害者の視点はないがしろにされがち…　◎心が5m動いた
◎貧困・虐待の連鎖についても考えました…
また同じ著者の
『戦場で心が壊れて　元海兵隊員の証言』
新日本出版社　アレン・ネルソン　319-ネ
この作中の「（日本は）国全体がPTSDにかかっている」という一文、どういう意味？と考えさせられる

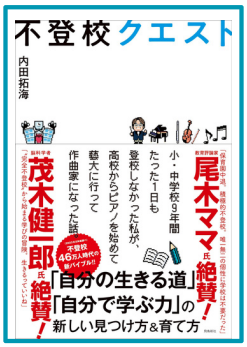


卒業生の書いた１冊

最近いろいろなメディアで名前を見かけます

『不登校クエスト』

内田拓海著（飛鳥新社）762-ウ



再度紹介します！
我らが修悠館高校卒業の作曲家、内田さん小中学校９年間不登校だった。修悠館で音研に入って合唱にはまって、目指す方向を決めて藝大に入って作曲家になった
高校は通過点。だけど、ここで知ったこと、学んだことは内田さんの力になっている
力づけられる１冊

同世代の人たちが作った１冊

『推し哲がみつかる！？　哲学者大図鑑』

東京都立小石川中等教育学校１６期生　102-ト
（推し哲プロジェクト製作委員会）著（清水書院）

はじまりは倫理の授業で生徒一人ひとりが作成した哲学四コマ。これを本にして世に出さないか？からスタート。哲学に目覚めた有志約５０名で作り上げた哲学入門書
「推し哲」みつけよう！



「ひとはこ本棚」11月から次の走者（先生たち）にバトンが渡りました。どなたでしょう？図書館に見に来てね♫

図書委員来年に向けて、まだまだ募集中！➡毎週木曜日昼休み、B207教室へ！